

部活動の地域連携・地域移行について

全国知事会 文教・スポーツ常任委員会委員長

愛知県知事 大村 秀章

1 はじめに

- 少子化に伴い、これまで子供たちの活動を担ってきた部活動の継続が困難になりつつあることから、子供たちが将来にわたって主体的に活動できる環境を確保することが重要である。
- 子供たちの活動の場が、学校から地域へ移ることにより、子供から大人までが参加、交流し、地域社会全体でスポーツ・文化芸術活動を楽しみ、地域の活性化にもつながることが期待できる。

2 全国知事会の考え

- 各自治体において部活動の地域連携・地域移行に向けた取組が進められているが、次の点が課題として挙げられる。

- ・ 地域クラブ活動の運営団体・実施主体となる地域の団体等の体制整備や指導者となる人材確保、指導者の処遇改善等、地域でスポーツ・文化芸術活動が実施できる環境の整備。
- ・ 地域連携・地域移行の必要性、目的、スケジュール、部活動の教育的意義と地域連携・地域移行との関係性等について十分な広報。
- ・ 実証事業の成果を踏まえ、移行の手順や具体的な取組内容を例示するなど、地域の実情に応じて地域連携・地域移行が円滑に進むための支援。その際、率先して準備を進めてきた団体において、改革に向けた意識や取組が後退することのないよう留意。
- ・ 地域クラブ等に支払う会費や活動に伴う保険料など、新たに生じる保護者等の費用負担を可能な限り軽減する観点から、経済的に困窮する家庭に対する十分な支援。

- 地域連携・地域移行に係る課題は、全国共通のものであることから、国の責任により必要な財政措置を講じることを強く要望。

愛知県の地域移行・地域連携に関する取組

I. 県の取組

愛知県（53市町村、名古屋市を除く）では、公立中学校が301校設置され、約14万7千人の生徒が通っている。部活動は4千を超える部が活動している。（2023年度時点）

少子化の影響を受け、今後、生徒数が減少していくことから、学校主体で進められてきた部活動を地域主体の活動へ移行し、子供たちの活動の場を確保することとしている。

あいち地域クラブ活動人材バンクの開設

地域移行・地域連携を進めるにあたり、指導者の確保は、各市町村共通の課題であることから、スマートフォン等から手軽にアクセスでき、Webサイト上で、中学校や地域クラブと、指導を希望する方をマッチングする「あいち地域クラブ活動人材バンク」を2024年5月に開設した。



○ 運用状況（2024年8月13日現在）

登録者数	クラブ等の募集人数	やりとりの件数	採用者数
506	251	193	14

実証事業の取組

県では、県内全ての市町村の担当者やコーディネーターが参加する協議会を設立し、各市町村における地域移行・地域連携の取組や課題等を共有している。

今年度は、運動部、文化部合同の協議会を3回予定している。

○ 各市町村の進捗状況（2024年4月現在）

区分	自治体数（％）	
方向性を決定	40（74％）	【地域移行】 31（57％）
		【地域連携】 9（17％）
方向性を検討中	14（26％）	

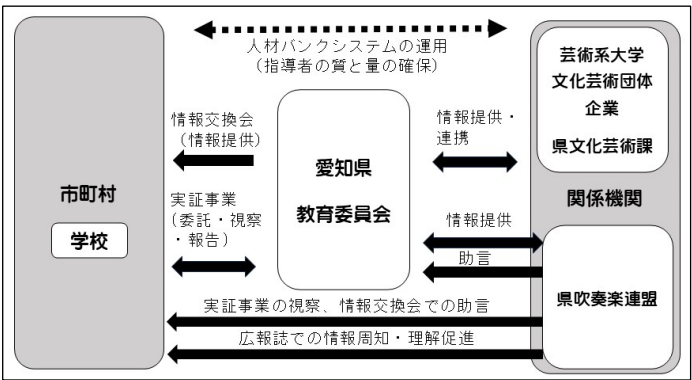
県吹奏楽連盟との連携

文化部活動では、市町村において、吹奏楽部を中心に地域の実情に応じた多様な取組を実施していることから、地域移行・地域連携の推進のため県吹奏楽連盟と連携している。

【連携の一例】

- ・事業を実施する市町村間での情報交換会の際に、専門的な視点から助言を受けている。
- ・県教育委員会と連盟の理事等が合同で市町村の取組の様子を視察している。
- ・連盟広報誌において地域移行・地域連携の推進状況を周知関係者の理解を図っている。

○ 地域移行・地域連携の推進体制（文化部活動の例）

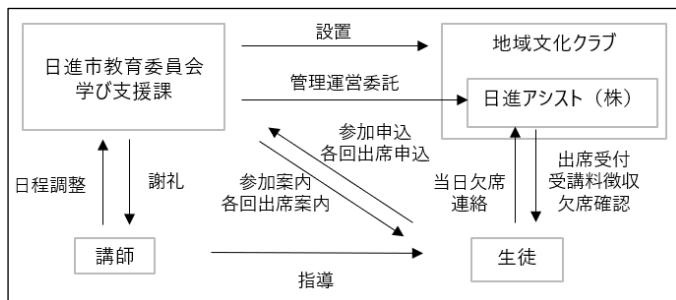


（文化部事業実施数 R5：9市町、R6：12市町）

Ⅱ. 市町村の取組

新たな地域文化クラブ（吹奏楽）への運営委託【日進市】

- ・市内 4 中学校の吹奏楽部を対象に 1 つの「地域文化クラブ」を実施。
- ・生徒募集、講師派遣の調整は市が行っている。
- ・当日の出欠席連絡、会場管理等の**運営を委託することで教員や市職員の負担を軽減**している。
- ・会場は、市民会館や小学校の放課後子ども教室の地域開放用教室を活用。
- ・専門的な知識や技能をもつ外部講師の指導により、活動が充実している。

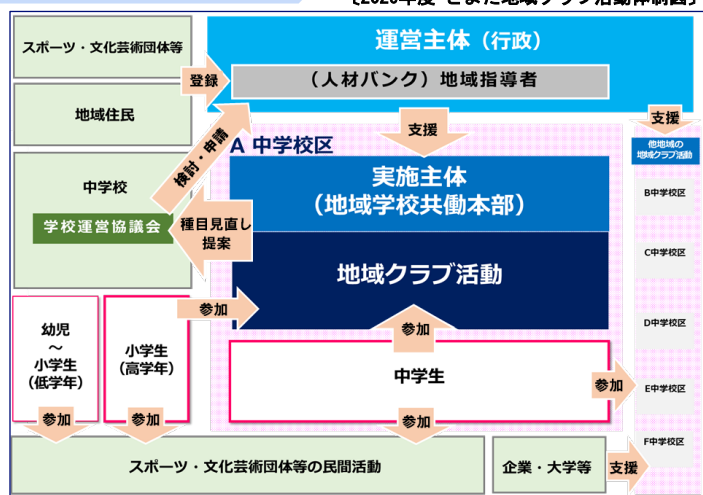


自治体を運営主体、地域学校共働本部※を実施主体にする取組【豊田市】

- ・2026年度からは、市が運営主体、各中学校の学区に設置されている地域学校共働本部が実施主体として地域クラブ活動を運営。生徒は、現行と同じ場所・時間に活動を行う。
- ・各共働本部に専属のコーディネーターを配置し、地域クラブ活動に関する事務や施設・指導者の管理等を行う。
- ・2026年度からの地域移行の準備のため、現在市内全28中学校265部活動において、休日の活動を500人以上の地域指導者が実施。
- ・子供たちのスポーツ・文化芸術機会を確実に確保するとともに、希薄になった地域での大人と子供のつながりを生み出していく。

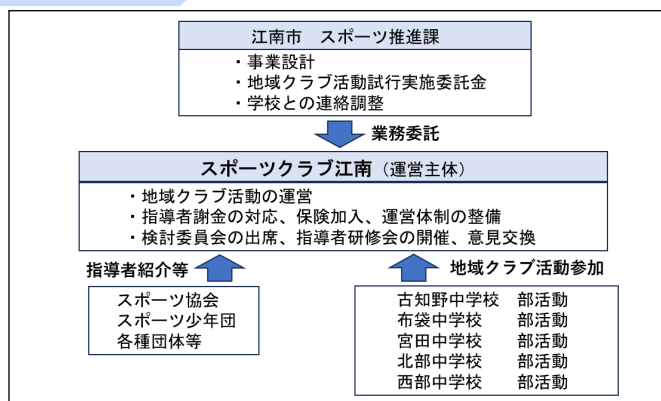
(※豊田市では、市民と行政が協力して働くことを「共働」と表現)

〔2026年度 とよた地域クラブ活動体制図〕



総合型地域スポーツクラブを運営主体にする取組【江南市】

- ・市内 5 中学校 9 部活動の運営を、総合型地域スポーツクラブである「スポーツクラブ江南」に委託。
- ・指導者の確保は、「スポーツクラブ江南」が行う。
- ・当日の出欠連絡は専用アプリを活用して行う。
- ・学校やスポーツクラブの施設を使用し、月 1 ～ 3 回活動を行う。
- ・費用は受益者負担とし、集金業務支援サービスを活用して、1 回あたり 500 円を徴収している。



Ⅲ. 地域移行に向けた課題等

【運動部・文化部共通】

- ・指導者の「質」の向上に向けた研修
- ・生徒の移動手段の確保
- ・保護者の費用負担の理解促進と経済的に困窮する家庭への支援
- ・平日と休日の指導員の連絡調整
- ・学校施設を利用する場合の施設等の利用・管理方法
- ・怪我や事故が生じた際の適切な補償
- ・次期学習指導要領における部活動の位置づけ
- ・教師等の兼職兼業の在り方

【運動部】

- ・県中体連主催大会への地域クラブの参加と大会運営の見直し

【文化部】

- ・楽器の運搬手段・保管場所の確保
- ・楽器の購入費、維持費の確保
- ・吹奏楽以外の部活動と地域の文化芸術団体との連携強化